

海上自衛隊歯科医官採用試験の概要

採用区分：歯科幹部候補生

■採用試験スケジュール

[1回目]

3月上旬～4月中旬 4月下旬 5月下旬 6月上旬 8月上旬



[2回目]

3月上旬～6月中旬 6月下旬 7月下旬 8月上旬 9月上旬

■応募資格

採用年4月1日現在、20歳以上30歳未満で、大学において正規の歯学の課程を修めて卒業しており（採用年3月卒業見込みの者を含む）、入校日までに歯科医師国家試験に合格している者

※なお、歯科医師臨床研修中の採用予定者は研修中断の手続きが必要となります。

採用区分：歯科幹部

■採用試験スケジュール

(1) 受付期間

第1回：2月上旬～6月上旬

第2回：8月上旬～10月下旬

(2) 合格発表

第1回：7月下旬、第2回：12月下旬

(3) 入隊時期

第1回：9月下旬～10月中旬

第2回：3月下旬～4月上旬

■応募資格

経験年数が2年以上で、臨床研修修了しているかつ日本歯科医学会専門分科会会員である者

処遇

■給与

初任給の月給は、247,500円～

これに加え、医師及び歯科医師である自衛官の初任給の水準を調整する手当が設定されています。月給に加え、地域や経験年数に応じ、最大約42万円が支給されます

※ 初任給は、採用予定者の歯科医師資格取得歴等により異なります。

単独型臨床研修施設

自衛隊横須賀病院

〒237-0071 横須賀市田浦港町1766-1

見学随時可能

見学等のお問い合わせ先

自衛隊横須賀病院歯科診療部

電話：046-822-3500（内線：6591）



■自衛隊横須賀病院ホームページ（歯科診療部URL）

<http://www.mod.go.jp/msdf/yhl/mura-sin-sika.html>

メールアドレス：yhl-dden@inet.msdf.mod.go.jp

■自衛隊募集ホームページ（応募方法等）

QRから自衛官募集ホームページへアクセス



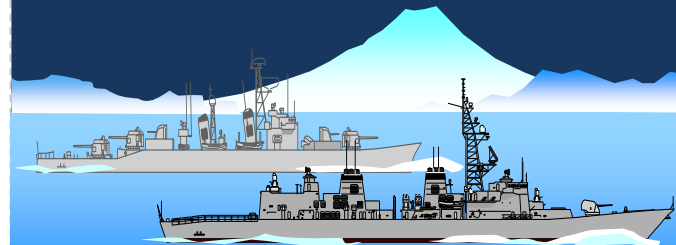
海上自衛隊歯科医官

Japan Maritime Self-Defense Force

Dental Officer

JAPAN
MSDF

歯科医師が持つ可能性
あなたを待つ隊員がいる



24大学

海自歯科医官の出身大学数

全国に歯科大学は29校ありますが、現在の海自歯科医官(37名)は、全国の24大学から集まっています。

30歳未満

歯科幹部候補生の応募資格

毎年3名前後の採用があり、応募資格は30歳未満で、新卒・既卒を問いません。大学院を卒業してから入隊する人もいますし、既卒者でも自己のスキルに見合った臨床研修を履修できるシステムです。別に、即戦力として入隊する公募採用は、30歳代での入隊が多いです。



762日

艦艇乗組み日数

R3年度、艦艇勤務をした歯科医官は6名で、合計762日間、艦艇に乗組みました。艦艇勤務では乗員から「歯科長」と呼ばれて頼られる存在です。大海原での数ヶ月もの航海で、人生観が変わるかも！



10学会

専門医等を保有する歯科医学会

海自歯科医官が指導医・専門医・認定医等の資格を保有する学会は、歯周病、口腔外科、歯科麻酔、歯科補綴、歯科保存、口腔衛生、歯内療法、有病者歯科等、10学会です。

数字で見る海自歯科医官

海上自衛隊(海自)に制服を着た歯科医師がいるのを知っていましたか？
あまり知られていない特徴を数字でまとめてみました。

皆さんには、いくつ「へ〜」があるでしょうか・・・

海上幕僚監部衛生企画室調べ(R4年10月1日現在)

5つのポイント 仕事の特徴

- 海自歯科医官は、約半数が病院等で複数の歯科医官と勤務し、症例検討等を通じて医療の精度管理を行い、質の高い総合臨床医を目指しています。
- 派遣部隊の円滑な任務遂行に寄与するため、海自歯科医官は自己完結的臨床能力や救急処置能力を身につけ、艦艇に乗組み様々な海外派遣に従事しています。
- 海上自衛隊の精強・即応に責務を果たすため、隊員の歯科健康管理の充実により部隊のデンタルレディネス(歯科的即応態勢)を整え、また、全国の実験隊では新入隊員の口腔衛生対策に取り組んでいます。
- 歯科医官とほぼ同じ人数の歯科衛生士が勤務し、歯科技工士を含めて、隊員のかかりつけ医を目指しています。
- 海外派遣、海外での多国間で連携した医療活動、国内では米海軍と勉強会を行う等、国際性豊かな職場です。

14隻

歯科ユニット保有艦艇数

歯科ユニットを保有する艦艇は、練習艦「かしま」、砕氷艦「しらせ」、補給艦「とわだ」「ときわ」「はまな」「ましゅう」「おうみ」、輸送艦「おおすみ」「しもきた」「くにさき」、護衛艦「ひゅうが」「いせ」「いずも」「かが」計14隻です。

3回

一人の歯科医官が南極に行った最多回数

南極地域観測協力行動にも、毎年1名の歯科医官が参加しています。砕氷艦「しらせ」は、文部科学省が建造し、海上自衛隊が運用しています。ペンギンは100%、運がよければ綺麗なオーロラも見れるそうです。「しらせ」で迎える新年やおせち料理も格別です。

7カ国・9寄港地

遠洋練習航海での訪問国数

海上自衛隊には、外洋訓練として、毎年、世界各国に寄港する約5ヶ月の遠洋練習航海があり、もちろん歯科医官も練習艦「かしま」に乗艦しています。仕事だけでなく、「地球の歩き方」の勉強も必要です。遠洋練習航海は、海上自衛隊が創設された1954年の3年後から開始され、R4年度は世界一周コースでした。

延べ99名

海外に派遣された歯科医官の人数

ソマリア沖アデン湾における派遣海賊対処行動等で海外に派遣された海自歯科医官は延べ99名です。過去には、インド洋における洋上給油活動、国際平和協力業務、国際緊急援助活動等で歯科医官が活動しました。



1991年

自衛隊初の海外派遣

湾岸戦争後、ペルシャ湾の機雷掃海を目的に、海上自衛隊の掃海派遣部隊が派遣されました。補給艦「ときわ」では、ポータブル歯科ユニットを活用して、海自歯科医官が歯科治療を行いました。

1都 1府 8県

海自歯科医官が勤務する所在県数

海自歯科医官は、横須賀(神奈川)・呉(広島)・佐世保(長崎)・舞鶴(京都)・大湊(青森)・中央(東京)の自衛隊病院や総監部衛生隊、海自航空基地航空衛生隊で勤務しています。見知らぬ土地での生活も楽しみの一つです。

2年／2ヵ月／2年 or 4年／1年

入隊後の教育・研修期間

- 歯科幹部候補生の場合、幹部候補生修了後に総員歯科医師臨床研修を実施します。期間は2年間を基本とし、内6ヶ月間は、防衛医大口腔外科・麻酔科で研修します。
- 2ヶ月間、在日米海軍病院で研修する機会があります。
- 部隊配属後は週1日、専門医の取得等を目指し、歯科大等で部外研修ができます。
- 選抜制で国内留学(2年or4年)、国外留学(2年)、防衛医大研究科(4年)、後期国内留学(1年)の機会があります。